

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490700067	事業の開始年月日	平成21年6月1日	
		指定年月日	平成21年6月1日	
法人名	大信産業株式会社			
事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん			
所在地	() 〒235-0011 横浜市磯子区丸山1丁目16-5			
サービス種別 定員等		登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	レ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成22年7月13日	評価結果 市町村受理日	平成22年11月1日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医食同源の考え方から、きちんとした食事をとる事でこころも体も健康を維持し、その人らしく生活しつづけて行かれるようお手伝いいたします。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成22年7月28日	評価機関 評価決定日	平成22年10月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【立地環境、建物】 このホームはJR根岸駅からバスで5分、そこから徒歩5分の場所に立地している。バス通りに面しており、近隣は住宅地で閑静な環境である。目の前にはスーパーマーケットがある。 軽量鉄骨造り3階建ての2・3階が当グループホームである。1階には小規模多機能事業所を併設している。バリアフリーでエレベーターが設置され、手すりを完備し安全に配慮されている。</p> <p>【地域とのつきあい】 丸山第一町内会に加入し、利用者は地域の夏祭りや餅つき、敬老会に参加して、地域の人々と交流をしている。近くの公園に散歩に出かけた際に子供達と仲良しになるなど、地域の一員として認識されてきている。</p> <p>【食事】 法人内で医食同源の考え方が定着している。バランスの取れた食事をしっかり摂ることが心と身体の健康につながると考え、水を筑波山や丹沢まで汲みに行ったり、野菜は地場産のものを利用するなどの工夫をしている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん
ユニット名	2F丸ちゃん

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		レ	2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	レ	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
		レ	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		レ	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		レ	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1, ほぼ全ての利用者が
		レ	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		レ	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		レ	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
		レ	4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	レ	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		レ	2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		レ	2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の中に「そのひとらしく」を掲げ、住み慣れた地域の中で、たのしみを持って暮らしていけるような会話や外出をしたり、行きつけの美容院、かかりつけ医に継続していかれるようお手伝いしています。	「地域に根ざした医療、介護、福祉の充実」という法人の理念を基盤とし、「食事が健康のもと。互いに認め合い、支え合いその人らしさを大切にする」を事業所の理念としている。さらにフロアごとにそれぞれ理念を掲げている。ミーティングで理念について話し合いケアに生かしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入れていただき行事等に参加させていただいている。地域の子供会の古紙回収。地域の商店を利用しての買い物や毎日の散歩で地域の方々との交流を図れるようまた、近隣に在住のスタッフがいる事で地域の情報や話題を多くご利用者様と共有できていると思います。	丸山第一町内会に加入している。夏祭りや餅つき、敬老会などの行事に利用者が参加したり、古紙回収で子供会に協力している。近くの公園に散歩に行った際に子供達と知り合い、その後、その子供達が事業所を訪れ交流している。町内会の敬老祝賀会に招かれた際には、付近の美容科の高校生からシャンプーやネイルのサービスを受けるなど、地域との付き合いを深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	研修や記録に残す、情報提供は出来ませんが、毎日の生活の中や、見学に来られた皆様にお伝えしたり、実際にご入居者様と話をさせていただいたりすることで、開設前の説明会で近隣の皆様が挙げられた不安や認知症の入居者さまへの恐怖感等はなくなっていると思います。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	8月開催予定しています	昨年6月の開設以来まだ開催していない。関係者との調整が進み、8月9日に第一回を併設の小規模多機能型居宅介護事業所と共催する予定である。メンバーは町内会長、民生委員、区および包括支援センターの職員、利用者、家族などを予定している。	第1回の運営推進会議の開催が決まったが、引き続き定期的に継続して開催されることが望まれる。外部評価の結果及び課題についても報告し、その後もモニター役として運営推進会議を活用することが期待される。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の状況を報告し、指導をいただきながら運営しています。	区の担当者に現状を知らせ、他県から入居する場合の入居基準などの相談をしている。事業所内で事故があった場合は市の事業指導室に報告している。疥癬が発生した時は区、保健所に指導を依頼した。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常の業務の中で身体拘束になりうる可能性のあることはその場で確認し合い廃止しています。特に言葉による拘束等は気づかぬうちに起り得る可能性が大きいので十分配慮しています。	身体拘束ゼロのマニュアルをもとに勉強会を実施し、職員に徹底している。玄関は日中、施錠していない。ユニット入口と居室は常時開放されている。職員は居場所と行動を明確にして、見守りを連携して行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	1月に研修実施 誰もが分かる明らかな虐待はないが、無意識にしている事が虐待につながっていないか みんなが意識していられるよう日々の申し送り、業務の中で確認し合うようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後 機会を設けていきたいと思えます。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の時には、一緒に契約書、重要事項説明書を確認しています。その場では思いつかないこともあるので 後からのご質問等もお受けすることをお伝えしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見B○X等の設置はありません。来設時等出来るだけお話をしてお意見を伺うようにしていますが、なかなか、全部の皆様からは難しいので、今後は気軽にご要望、ご意見を伺えるようなシステムを作り運営に反映させていきたいと思ひます。	家族の来訪時に、日頃の様子を伝えながら、意見・要望を聞くようにしている。職員の名前を知りたいとの要望があったため、名前・プロフィール、顔写真入りのプレートを入口に掲示する予定である。家族会はまだないが、気楽な茶話会などから始めることを計画中である。	茶話会等を計画中であるが、利用者や家族が管理者や職員等へ意見や要望を発信する機会を設けて、運営に反映させることが期待される。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時やミーティング時以外にもスタッフから申し出があれば常に聞いていき、必要なことであればすぐに実施し、全体で決めるべきことはミーティングの議題として検討している。	管理者は会議や打合せの時はもちろん普段から職員の意見、提案、要望には耳を傾けている。職員の提案により、プライバシー保護のため家族の面会票を個人ごとに変えた事例がある。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めていると思ひます。			
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に適した研修を提案したり、力量に合わせたスタッフ配置を心がげ業務のなかで学び、成長していかれるよう配慮しています。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム連絡会に加入し勉強会等に参加。横浜市の研修等で同職種の交流や連携を図れるようにしています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	認知症のご利用者様なので、ゆっくりとご本人のペースで安心してお互いの信頼関係を築いていかれるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様がまだ迷われていたり、不安なお気持ちでおられることもあるので、まずはお話ししたい事をゆっくりと伺い、その後サービスの開始にあたり必要なこと、ご要望等をお伺いしています。一度ではお互いに伝わりにくい事が多いのでその後も電話などで連絡を取り合うこともあります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お住まいを変えてグループホームに入居するという大きな変化があるのでまずは、安心していただける場所であることをご理解いただけるよう努めております。その後個々の入居者様のご様子にあわせたサービスをしていかれるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来ることは一緒にやっていただき、役割を持つことでその人らしく暮らせるようお手伝いさせていただきます。料理のできない若いスタッフは入居者様に野菜の切り方の名称やその切り方を教えていただいたり、洗濯もののたたみ方等を教わることもあります。年代の違うスタッフがそれぞれ息子や嫁、娘、孫のような役割で入居者様との関係を築けていると思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間は特に決めておらずいつでも来ていただいて、一緒にお食事やおやつ、レクリエーション等に参加していただきご家族様だけでは大変な部分をお手伝いさせていただき事で、一緒に楽しめる時間を持っていただきたいと考えています。入居の契約の際、「これから長いお付き合いになりなす」「ご入居者様がより快適に生活していかれるようパートナーとして協力し合っていきたいと思っております」とお伝えさせていただいており、常にそう思っております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご本人が入居前がらご利用されていた地域の活動、美容院や馴染みの店、医者には継続していかれるようお手伝いしています。お友達の面会や電話の取次ぎも常時しています。	馴染みの美容院へ送迎したり、入居前から通っている地域ケアプラザの催しにタクシーで送り迎えをしたりしている。友人が訪ねて来ると、お茶を出し昼食を一緒にするなど、馴染みの関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご本人同士の関係性を考慮しながらよりよい雰囲気でも過ごしていられるよう、日々の外出、レクリエーション 話題提供をしています。今ある関係性に執着せず、新しい発見を大切にしたいと思います。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も電話でご本人やご家族様の近況報告をしてくださっていることもあります。季節の便り等で関係性を保っていきたくと考えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	著しく危険であったり、他の入居者様に迷惑や不快がないことであれば出来る限りはご本人の想いに沿ってお手伝いさせていただきます。	利用者の思いや暮らし方の希望などは、日常の生活の中でなるべく自然に聞き出すようにしている。食事のことは食事中に聞き、判断しやすいように二者択一で選んでもらうこともある。現在は意思疎通が困難な利用者はいない。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	認知症があり、正確にお伺いすることは難しいこともありますが、ご家族様からのお話や日常の中でのお話から、馴染みのもの好みのやり方を伺い、できるだけ決定はご自身で行かれる環境作りに努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事、水分の摂取量、バイタル測定値、日常のご様子を記録し、その日の状態をスタッフ全員が把握し、安全に快適に過ごせるよう努めています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	申し送りやミーティング時に話し合いをし、日常のケアに反映させていますが、現状に即したプランの作成と周知が現在の課題です。今後は現状に即したプランの作成とモニタリングがして行かれるよう方法を検討し実施できるよう努めています。	管理者は計画作成担当者および介護職を兼務している。職員から利用者の状況の情報を収集し、家族の希望を取り入れ、フロアリーダーの意見を聞いて介護計画に落とし込んでいる。家族の意見は来訪時に聞き計画に反映している。毎月のフロアミーティングでは、計画通り効果が出ないケースなどを主体にカンファレンスをしている。	職員に介護計画の内容を周知し、意識付け、介護計画に基づいたケアを行うことが期待される。また、すべての利用者について定期的に介護計画を見直すことが期待される。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を基に職員間で情報共有をしケアの方向性を考えていっていますが、見落とすことや、記録漏れも多くあり、今後気づきや、工夫、重要であることがすぐに伝わりやすい記録の仕方を検討中です。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在は具体的な例はありませんが、今後そのようなニーズがあった時は法令順守にのっとり、双方の意を確認し、柔軟に対応していきたいと考えています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	可能である入居者様は公共の交通機関を利用し、外出を楽しまれたり、定期的な地域の催しに参加されたりしています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居にあたり、ご本人、ご家族様からかかりつけ医を変えたいと相談された入居者様以外は今までのかかりつけ医をご利用されています。受診の際は必要な情報を提供し、ご家族様が付き添いを希望された時は同行させていただいています。定期受信や、緊急受診時、ご家族様の都合がつかない場合は、かかりつけ医受診継続のためスタッフが同行させていただくこともあります。	利用者のほとんどが入居前のかかりつけ医を受診している。事業所の協力医は主に緊急時に利用している。別に往診医がおり2週に1回、2名が往診を受けている。認知症専門医、歯科、その他の診療科に通院している方もいる。家族が通院介助をするが、都合つかない時は職員が対応している。家族とは医療情報を共有している。医療連携を同法人の他事業所と共に推進する方針である。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職の配置はありません。医療連携を検討中です。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お見舞いに伺いご様子を拜見させていただいたり、ご家族様と密に連絡を取り、入居者様の状況を把握するよう努めています。必要であればご家族様了承のもと病院からも情報提供を受け、ご本人、ご家族様ともに、安心して治療できるよう協力していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の契約の際、重度化した場合や、終末期には双方で話し合い状況に適した対応をしていきたいとお伝えしてありますが、具体的な話し合いはしていません。地域の関係者との連携も検討課題です。	常時医療行為が必要でなく、家族の協力を得られることができれば看取りが可能であることを本人や家族に伝えてい。現在は重度化している人はいないので、具体的な話には至っていない。医療連携と合わせて検討を進めていく意向である。	医療連携体制と併せて重度化への対応や終末期、ターミナルケアの方針、対応方法を策定することが期待される。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	今後実施予定です			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	7月地域の消防署、消防設備会社立ち会いにて 避難・通報・消火訓練実施予定 次回は地域の方々にもお知らせし、協力体制を築いていきたいと思っております。	7月に消防署の指導を得て開設以来初めて防災訓練を実施した。普段は歩行に問題のない方でも、訓練では緊張のためか足が動かなくなるケースもあるなど、良い経験となった。	今後は消防署と連携して、定期的に継続して訓練を実施することが望まれる。また、地域との協力体制を築くこと、非常用の食料、備品の備蓄を進めることが期待される。	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活において常に心がけています。	日頃から言葉遣いや名前の呼び方などを、職員同士で注意するようにしている。名前の呼び方は本人の意向を優先するようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援	認知症があるため周りに思いがうまく伝わらなかつたり、誤解をされてしまう事			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	も多くあるので、そのような事で辛い思いをしたり、不信感につながらないように十分配慮しながらお一人お一人の想いに耳を傾けるよう努めています。可能である方はご自分で、お一人では難しい方は、お気持ちを考えながら自分で決められることは自分で決定していかれるようお手伝いしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	グループホームでの一日の過ごし方、食事や、活動等の時間はおおむね決めてありますが、参加や、決定はご本人にお任せしています。無理じいをせず、楽しんで参加していただける声掛けを心掛けています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人らしい、ご本人がお好きな装いをしています。ご自宅から持ってきた服で、長く大切にされていたものをお召しになっている事が多くあります。認知症がある為に季節に合わない服装や、正しい着用ができていない事もありますが、そんな時はご本人にさりげなくお伝えし、ご自分で納得されてから一緒に適した服を選び着用していただいています。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「お腹がすいた」「食べたい」気持ちになるように出来るだけ活動に参加していただけるよう、活動内容を工夫したり、声掛けを工夫しています。皆で同じものを頂くので毎食お好みの者はお出しできませんが、食べたい物や、お好きなものを伺いお出しできる機会を作るよう努めています。食事の準備や後片付けができる入居者様には一緒に手伝って頂いています。	法人全体で医食同源という考え方が浸透している。水を筑波山や丹沢まで汲みに行き、野菜は地場産のものを利用するなどの工夫をしている。利用者は調理の下準備をしたり、お米を洗ったり、盛り付けをしたり、後片付けなどができる方が手伝っている。職員は食事を促したり、一部の方には介助をしながら、利用者と一緒に同じ食事を取っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べられる量はそれぞれ違うので盛り付けに工夫をしたり、必要な入居者様にはメニューによって食べやすく切ってお出しすることもあります。お食事をされているご様子、食事の量を把握し、状況に適したお食事がお出しできるようお手伝いしております。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、お一人ずつに合わせた口腔ケアをしています。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様に合わせた排泄パターン、習慣でお手伝いしています。その日の体調や、排泄記録をもとにトイレの声掛けや、下着の使い分けをし、快適に清潔に過ごせるよう配慮しています。	食事量と水分量の摂取状況は記録し把握されている。排泄状況は排泄チェック表に記録し、体調が悪いなど必要な方には声かけをしている。ほとんどの方はトイレは自立している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	午前中のお茶の時間は毎日ヨーグルトとバナナを召し上がっていただいています。楽しみながら運動量がとれるよう散歩や買い物を日常の中に取り入れています。雨天の時は体を動かせるような室内ゲーム等で運動量を取るよう心がけています。排泄表を基に排便の有無を確認し、必要な場合はご本人に処方されている下剤を服用していただく等の排便管理をしています。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の好きな湯加減に調節し、お一人ずつ入浴していただいています。ご希望のある入居者様には入浴予定日以外でも入浴していただいています。	通常は週2回は入浴できるように支援している。希望があればいつでも入浴することができる。入浴しながらいない方には、タイミングを見て促し、週1回は入浴してもらっている。入浴しない日は必ず足浴を行い、血行を良くして体調維持に努め、衛生的にし水虫を予防している。好みにより入浴剤を入れたり、季節にはしょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間もそれぞれ違うので 休みたくなったらお休みいただくようにしていますがあまりに深夜まで休まれない様子や認知症がありご本人でその状況が判断できず入眠するタイミングを逃し、興奮状態になられる入居者様には、眠くなるような雰囲気づくりをし、落ち着いて眠れるよう配慮しています。日中もその日の体調や入居者様それぞれの習慣に応じてお休みいただいています。照明や寝具等も気持ちよく休めるよう、できるだけお好みに合わせて整えています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様個々の薬情を把握し、処方通りに服薬していただいています。体調や症状の変化があった時は、ご家族様、医療機関と連携を取り、適切な服薬ができるようお手伝いします。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様それぞれに伺いながら楽しめること、気分転換出来る事を計画しています。2Fでは入居者様が自主的に役割を担ってくださったり、活動内容を決定し実施、進行して下さるので、そのような時はお任せし、見守りとしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近くに商店街や公園がいくつかあり、その日の天気や皆様の気分に合わせて散歩の行き先を決めていっています。ご本人が希望され普段は行かれないところは、ご家族様に協力していただいたり、あらかじめ日にちを決めてその日は外出の為に職員配置をし、安全に出かけられるようにしています。	天気が良いと毎日のように、近所の公園を3ヶ所廻ったり、商店街へ行き下着や靴下を買ったりするなどの外出をしている。夏場の暑い日は屋外は避け、向かいの中型スーパーの開店直後に、店内を周回させてもらっている。花見や初詣などの季節の外出のほかに、数人でドライブに出かけることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援	ご本人が混乱することなく保管でき、ご家族様もそれを希望されている入居者様		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<p>本人は希望通りにお金を管理されています。</p> <p>はご自分でお財布を管理されています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも希望された時はお手伝いしています。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お掃除や、季節の飾り、花を活ける等入居者様と一緒に楽しみながらやっています。	グループホームは2階と3階で玄関からエレベーターを利用する。廊下はゆったりして長く、歩行訓練にも利用できる。食堂も居間も窓が大きく、日当たりが良く明るい。日差しが強すぎる時は新聞紙で遮ることもある。あちこちに生花を飾っており季節感がある。壁面の飾りつけは少な目で、落ち着いた雰囲気である。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は自然に定着していったが、その日の気分やご本人の希望で皆さんが楽しめるよう臨機応変に対応しています。リビングのソファもその時の状況に応じてご自由に楽しいんでいただけるよう配慮しています。			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のお好みや、使いなれた寝具 家具をお持ちいただき、ご自由にレイアウトしていただいています。	居室には整理ダンスやテレビ、ベッド、イスなど使い慣れた馴染みの家具が持ち込まれている。壁には家族の写真や絵画などを飾り、安心して過ごせる場所となっている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全にご自分で 歩いて移動していただけるよう床は段差のないフラットなつくりになっています。その時の入居者様の状況に応じて「トイレ」「風呂」ご本人の居室を分かりやすく表示し、迷わずに移動できるようにしています。表示がある事で、できる入居者様はダンスの引き出しに中に入っているものを張り、ご自分で出し入れできるようになりました。カレンダーに予定を書き込みご自分で外出や受診日の確認をしておられる入居者様もいらっしゃいます。			

平成 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1490700067	事業の開始年月日	平成21年6月1日
		指定年月日	平成21年6月1日
法人名	大信産業株式会社		
事業所名	グループホームみのり丸ちゃん山ちゃん・3F山ちゃん		
所在地	() 〒235-0011 横浜市磯子区丸山1丁目16-5		
サービス種別 定員等		登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	レ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成22年7月13日	評価結果 市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医食同源間の考え方から、きちんとした食事をする事で健康な心と体を維持し、その人らしく暮らしていくことをお手伝いさせていただきます。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日		評価機関 評価決定日	

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1, ほぼ全ての利用者の
		レ	2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	レ	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)		1, ほぼ全ての利用者が
		レ	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		レ	3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	レ	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		レ	2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		レ	3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
		レ	4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	レ	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
		レ	2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
		レ	2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の中に「そのひとらしく」を掲げ、住み慣れた地域の中で、たのしみを持って暮らしていけるような会話や外出をしたり、行きつけの美容院、かかりつけ医に継続していけるようお手伝いしています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入れていただき行事等に参加させていただいている。地域の子供会の古紙回収。地域の商店を利用したの買い物や毎日の散歩で地域の方々との交流を図れるようまた、近隣に在住のスタッフがいる事で地域の情報や話題を多くご利用様と共有できていると思います。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献	研修や記録に残す、情報提供は出来ていませんが、毎日の生活の中、見学に来られた		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	生活の中や、見学に来られた皆様にお伝えしたり、実際にご入居様と話をさせていただいたりすることで、開設前の説明会で近隣の皆様が挙げられた不安や認知症の入居者さまへの恐怖感等はなくなっていると思います。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	8月開催予定しています		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の状況を報告し、指導をいただきながら運営しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日常の業務の中で身体拘束になりうる可能性のあることはその場で確認し合い廃止しています。特に言葉による拘束等は気づかぬうちに起り得る可能性が大きいので十分配慮しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	1月に研修実施 誰もが分かる明らかな虐待はないが、無意識にしている事が虐待につながっていないか みんなが意識していられるよう日々の申し送り、業務の中で確認し合うようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後 機会を設けていきたいと思えます。		
9		○契約に関する説明と納得	契約の時には、一緒に契約書 重要事項説明書を確認し、		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	口、言葉が通じない方を確認しています。その場では思いつかないこともあるので、後からのご質問等もお受けすることをお伝えしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見B○X等の設置はありません。来設時等出来るだけお話をしてお意見を伺うようにしていますが、なかなか、全部の皆様からは難しいので、今後は気軽にご要望、ご意見を伺えるようなシステムを作り運営に反映させていきたいと思ひます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り時やミーティング時以外にもスタッフから申し出があれば常に聞いていき、必要なことであればすぐに実施し、全体で決めるべきことはミーティングの議題として検討している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	努めていると思います。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個々に適した研修を提案したり、力量に合わせたスタッフ配置を心がげ業務のなかで学び、成長していかれるよう配慮しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のグループホーム連絡会に加入し勉強会等に参加。横浜市の研修等で同職種の交流や連携を図れるようにしています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係	認知症のご利用者様なので、ゆっくりとご本人のペースで		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心してお互いの信頼関係を築いていかれるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様がまだ迷われていたり、不安なお気持ちでおられることもあるので、まずはお話したい事をゆっくりと伺い、その後サービスの開始にあたり必要なこと、ご要望等をお伺いしています。一度ではお互いに伝わりにくい事が多いのでその後も電話などで連絡を取り合うこともあります。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	お住まいを変えてグループホームに入居するという大きな変化があるのでまずは、安心していただける場所であることをご理解いただけるよう努めております。その後個々の入居者様のご様子にあわせたサービスをしていかれるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係	出来ることは一緒にやっていたが、役割を持つことでそ		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<p>たたく、役目を持ってこまめにのりらしく暮らせるようにお手伝いさせていただいています。料理のできない若いスタッフは入居者様に野菜の切り方の名称やその切り方を教えていただいたり、洗濯もののたたみ方等を教わることもあります。年代の違うスタッフがそれぞれ息子や嫁、娘、孫のような役割で入居者様との関係を築けていると思います。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時間は特に決めておらずいつでも来ていただいて、一緒にお食事やおやつ、レクリエーション等に参加していただきご家族様だけでは大変な部分をお手伝いさせていただく事で、一緒に楽しめる時間を持っていただきたいと思います。入居の契約の際、「これから長いお付き合いになります」「ご入居者様がより快適に生活していかれるようパートナーとして協力し合っていきたいと思っています」とお伝えさせていただいており、常にそう思っております。</p>		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援	<p>ご本人が入居前からご利用されていた地域の活動、美容院</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<p> <small>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</small> や馴染みの店、医者には継続していかれるようお手伝いしています。お友達の面会や電話の取次ぎも常時しています。 </p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご本人同士の関係性を考慮しながらよりよい雰囲気でご過ごしていられるよう、日々の外出、レクリオレーション 話題提供をしています。今ある関係性に執着せず、新しい発見を大切にしたいと思えます。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も電話でご本人やご家族様の近況報告をさせていただき、季節の便り等で関係性を保っていきたいと考えております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	著しく危険であったり、他の入居者様に迷惑や不快がないことであれば出来る限りはご本人の想いに沿ってお手伝いさせていただきます。		
24		○これまでの暮らしの把握	認知症があり、正確にお伺いすることは難しいこともあり		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<p>ですが、ご家族様からのお話や日常の中でのお話から、馴染みのもの好みのやり方を伺い、できるだけ決定はご自身で行かれる環境作りに努めています。</p>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<p>食事、水分の摂取量、バイタル測定値、日常の様子を記録し、その日の状態をスタッフ全員が把握し、安全に快適に過ごせるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	申し送りやミーティング時に話し合いをし、日常のケアに反映させていますが、現状に即したプランの作成と周知が現在の課題です。今後は現状に即したプランの先性とモニタリングがして行かれるよう方法を検討し実施できるよう努めてまいります。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を基に職員間で情報共有をしケアの方向性を考えていっていますが、見落とすことや、記録漏れも多くあり、今後気付きや、工夫、重要であることがすぐに伝わりやすい記録の仕方を検討中です。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	現在は具体的な例はありませんが、今後そのようなニーズがあった時は法令順守ののっとり、双方の想いを確認し、柔軟に対応していきたいと考えています。		
29		○地域資源との協働	入居者様の状況に合わせ、今後 実施していかれてるよう		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	既に実施済み、今後の取り組みを検討していきます		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居にあたり、ご本人、ご家族様からかかりつけ医を変えたいと相談された入居者様以外は今までのかかりつけ医をご利用されています。受診の際は必要な情報を提供し、ご家族様が付き添いを希望された時は同行させていただいています。定期受信や、緊急受診時、ご家族様の都合がつかない場合は、かかりつけ医受診継続のためスタッフが同行させていただくこともあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職の配置はありません。医療連携を検討中です。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	お見舞いに伺いご様子を拝見させていただいたり、ご家族様と密に連絡をとり、入居者様の状況を把握するよう努めています。必要であればご家族様了承のもと病院からも情報提供を受け、ご本人、ご家族様ともに、安心して治療できるよう協力していきます。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時の契約の際、重度化した場合や、就末期には双方で話し合い状況に適した対応をしていきたいとお伝えしてありますが、具体的な話し合いはしていません。地域の関係者との連携も検討課題です。		
34		○急変や事故発生時の備え	今後実施予定です		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている			
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	7月地域の消防署、消防設備会社立ち会いにて 避難・通報・消火訓練実施予定 次回は地域の方々にもお知らせし、協力体制を築いていきたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活において常に心がけています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症があるため周りに思いがうまく伝わらなかったり、誤解をされてしまう事も多くあるので、そのような事で辛い思いをしたり、不信感につながらないよう十分配慮しながらお一人お一人の思いに耳を傾けるよう努めています。可能である方はご自分で、お一人では難しい方は、お気持ちを考えながら自分で決められることは自分で決定していかれるようお手伝いしておます。		
38		○日々のその人らしい暮らし	グループホームでの一日の過ごし方、食事や、活動等の時		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人、長子、長女、信子さんの間はとおむね決めてありますが、参加や、決定はご本人にお任せしています。無理じいをせず、楽しんで参加していただける声掛けを心掛けています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人らしい、ご本人がお好きな装いをさせていただいています。ご自宅から持ってこられた服で、長く大切にされていたものをお召しになっている事が多くあります。認知症がある為に季節に合わない服装や、正しい着用ができていない事もありますが、そんな時はご本人にさりげなくお伝えし、ご自分で納得されてから一緒に適した服を選び着用させていただいています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援	「お腹がすいた」「食べたい」気持ちになるように出来		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	<p>「お一人様は、お一人様で、出来るだけ活動に参加していただけるよう、活動内容を工夫したり、声掛けを工夫しています。皆で同じものを頂くので毎食お好みの者はお出しできませんが、食べたい物や、好きなものを伺いお出しできる機会を作るよう努めています。食事の準備や後片付けができる入居者様には一緒に手伝って頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べられる量はそれぞれ違うので盛り付けに工夫をしたり、必要な入居者様にはメニューによって食べやすく切ってお出しすることもあります。お食事をされている様子、食事の量を把握し、状況に適したお食事がお出しできるようお手伝いしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、お一人ずつに合わせた口腔ケアをしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様に合わせた排泄パターン、習慣でお手伝いしています。その日の体調や、排泄記録をもとにトイレの声掛けや、下着の使い分けをし、快適に清潔に過ごせるよう配慮しています。		
44		○便秘の予防と対応	午前中のお茶の時間は毎日ヨーグルトとバナナを召し上		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<p>がっていただいています。楽しみながら運動量がとれるよう散歩や買い物を日常の中に取り入れています。雨天の時は体を動かせるような室内ゲーム等で運動量を取るよう心がけています。排泄表を基に排便の有無を確認し、必要な場合はご本人に処方されている下剤を服用していただく等の排便管理をしています。</p>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	<p>ご本人の好きな湯加減に調節し、お一人ずつ入浴していただいています。ご希望のある入居者様には入浴予定日以外でも入浴していただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間もそれぞれ違うので休みたくなったらお休みいただくようにしていますがあまりに深夜まで休めない様子や認知症がありご本人でその状況が判断できず入眠するタイミングを逃し、興奮状態になられる入居者様には、眠くなるような雰囲気づくりをし、落ち着いて眠れるよう配慮しています。日中もその日の体調や入居者様それぞれの習慣に応じてお休みいただいています。照明や寝具等も気持ちよく休めるよう、できるだけお好みに合わせて整えています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者様個々の薬情を把握し、処方通りに服薬していただいています。体調や症状の変化があった時は、ご家族様、医療機関と連携を取り、適切な服薬ができるようお手伝いします。		
48		○役割、楽しみごとの支援	役割分担、外出や、活動の計画時 入居者様それぞれの好		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自分、生活自体を大切に楽しみや、得意なことを活かせるよう配慮しています。ご本人の馴染みの嗜好品も生活の中の楽しみとして続けていかれるようお手伝いしています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近くに商店街や公園がいくつかあり、その日の天気や皆様の気分に合わせて散歩の行き先を決めています。ご本人が希望され普段は行かないところは、ご家族様に協力していただいたり、あらかじめ日にちを決めてその日は外出の為の職員配置をし、安全に出かけられるようにしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人が混乱することなく保管でき、ご家族様もそれを希望されている入居者様はご自分でお財布を管理されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも希望された時はお手伝いしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	お掃除や、季節の飾り、花を活ける等入居者様と一緒に楽しみながらやっています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の席は自然に定着していったが、その日の気分やご本人の希望で皆さんが楽しめるよう臨機応変に対応しています。リビングのソファもその時の状況に応じてご自由に楽しいんでいただけるよう配慮しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人のお好みや、使いなれた寝具 家具をお持ちいただき、ご自由にレイアウトしていただいています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり	安全にご自分で 歩いて移動していただけるよう床は段差		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>おこなったため、より生活しやすいフラットなつくりになっています。その時の入居者様の状況に応じて「トイレ」「風呂」ご本人の居室を分かりやすく表示し、迷わずに移動できるようにしています。表示がある事で、できる入居者様はタンスの引き出しに中に入っているものを張り、ご自分で出し入れできるようになりました。カレンダーに予定を書き込みご自分で外出や受診日の確認をしておられる入居者様もいらっしゃいます。、、</p>		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームみのり
丸ちゃん山ちゃん

作成日 平成22年 10月29 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	開設後運営推進会議の設置が遅れていた	定期的に運営推進会議を開催し地域の皆様、ご家族様等のご意見、ご希望を運営に反映させて地域のお仲間として入居者様のよりよい暮らしをお手伝いをさせていただきます。	H22・8月に第1回運営推進会議を実施。会議メンバーの希望で次回はH23・1月の開催が決定した。定期的に継続して開催していく。会議開催前には限られた時間を有効に使えるよう、しっかりと事前準備をする。	H22年8月29日開催 今後は定期的に開催予定
2	10	入居後、ご家族様とゆっくりと時間を取りお話をする機会がなく、ご意見やご要望を伺ったり、グループホームでの活動、ご様子等を詳しくお伝えできていない。	入居者様やご家族様のご要望、ご意見を運営に反映させ、みんなが安心して暮らせるグループホーム作りを目指す。	入居者様やご家族様のご意見、ご要望を発信しやすい雰囲気作りや情報交換ができる機会をもうける。医療連携体制の説明会開催時にご家族様の自己紹介等していただき、とても良い雰囲気であったので今後は家族会や茶話会等計画し、多くのご家族様、職員の交流を持っていきたいと考えています。	6か月
3	26	介護計画の内容の周知、モニタリング、記録ができていない	現状に即した介護計画の作成、職員への周知、モニタリング、計画の見直し等をスムーズに行いよりよいチームケアを目指す。	日常生活での入居者様との関わり、医療等の他職種との連携や、目標達成計画項目番号10の取り組みより、入居者様ご家族様のご意見ご要望	6か月